

令和4年度シラバス

歯科衛生士科

神戸総合医療専門学校

科目名		授業形態	担当教員名	
歯科補綴学		講義	徳田 進之介	
時間数 (単位数)		授業回数	年次	開講時期
30 時間 (2 単位)		15 回	1 年次	後期
授業の目的・概要				
歯科衛生業務を行うために必要な歯質欠損に対する歯冠修復と歯列の一部、あるいは全部の歯の欠損に対する咬合回復の治療法を理解することを目的とする。				
授業の到達目標				
1. 歯および歯列の形態と位置的関係、顎口腔系の機能、咬合を説明できる。 2. 補綴装置の種類と適応を説明できる。 3. 支台装置とボンテックの選択、特徴、製作法を概説できる。 4. 有床義歯の支持装置、把持装置、維持装置を説明できる。 5. 補綴治療に用いられる器材を説明できる。 6. 補綴治療の臨床ステップ、技工操作を概説できる。 7. 補綴装置製作のための咬合採得に用いる材料と取り扱い法を説明できる。 8. 咬合採得する下顎位と咬合採得法を概説できる。 9. 義歯の調整、リライニング、リベース、修理を概説できる。 10. 補綴処置後のメンテナンスの重要性を説明できる。 11. ブリッジの特徴、構成を説明できる。 12. プロビジョナルレストレージョンの概要を説明できる。 13. インプラントの特徴を説明できる。				
授業計画				
回	内容			
1	補綴とは			
2	補綴治療の種類と材料			
3	補綴治療における衛生士の役割			
4	補綴治療の基礎知識			
5	クラウンブリッジ治療の概要			
6	支台築造			
7	プロビジョナルレストレージョン製作実習①			
8	プロビジョナルレストレージョン製作実習②			
9	ブリッジの特徴と構成			
10	クラウンブリッジ治療に伴うトラブルとその対応			
11	有床義歯治療の概要			
12	インプラント治療の概要			
13	全部床義歯			
14	部分床義歯			
15	有床義歯の修理とリライニング			
成績の評価法と基準				
種別	割合	評価基準・その他備考		
定期試験	80%	補綴治療の基礎知識が理解できているかを評価する		
レポート	10%	実習内容のレポートを評価する		
小テスト				
平常点	10%	出席状況と授業態度を評価する		
その他				
自由記載				
教科書				
書名	著者・編集者名		出版社名	
最新 歯科衛生士教本 咀嚼障害・咬合異常1 歯科補綴 第2版	全国歯科衛生士教育協議会		医歯薬出版株式会社	
自由記載				
参考文献				
書名	著者・編集者名		出版社名	
なし				
自由記載				
備考				